



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月29日

上場会社名 日水製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4550 URL <https://www.nissui-pharm.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 小野 徳哉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 斎藤 伸 (TEL) 03-5846-5611
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,139	△17.9	300	△47.0	397	△30.8	260	△16.8
2020年3月期第2四半期	6,260	1.4	567	△14.4	575	△17.7	313	36.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 340百万円(12.0%) 2020年3月期第2四半期 304百万円(43.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	11.64	—
2020年3月期第2四半期	13.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	34,728	32,282	93.0
2020年3月期	35,203	32,176	91.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 32,282百万円 2020年3月期 32,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	10.00	30.00
2021年3月期	—	10.00			
2021年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2020年10月29日)公表の「2021年3月期 業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,400	△18.6	630	△45.0	730	△26.4	490	21.9	21.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年10月29日)公表の「2021年3月期 業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外 : 1社 日水製薬医薬品販売株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期2Q	22,547,140株	2020年3月期	22,547,140株
2021年3月期2Q	152,733株	2020年3月期	152,692株
2021年3月期2Q	22,394,420株	2020年3月期2Q	22,394,667株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(企業結合等関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内外の市場環境は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の収束見通しが立たない状況が続き、経済活動の自粛および消費の急激な減少からの持ち直しの動きはあるものの、景気回復が遅れ厳しい経済状況となりました。今後も国内外の経済情勢の厳しい状況が続くことが想定されております。体外診断用医薬品の国内市場においては、同感染症の影響で医療機関への外来患者数・入院患者数が減少したことにより回復が遅れており、医療を取り巻く厳しい環境が続いております。また、食品企業等の品質検査の国内市場では、単筆もり需要により一部の業種では増加傾向にありますが、外食産業や小売業および旅行者向けのお土産等の製造需要が大幅に減少している事により、一部の工場では大幅な稼働低下が生じる等、厳しい環境が見受けられます。再生医療分野においては、同感染症での臨床治験の実施等、治療法確立のための活動が開始されております。

このような状況のもと当社グループでは、経営方針として「長期的に持続的成長をする企業」を掲げております。この経営方針の実現に向けて、2ヵ年の中期経営計画の最終年に際し、「利益ある成長」「新たな企業イメージ醸成」「ステークホルダーへの還元」を重要課題として、事業の拡大、原価低減・業務効率化等のコスト削減、異業種テクノロジーの活用を推進しました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）PCR検査薬につきましては、株式会社島津製作所が2020年9月8日付けで体外診断用医薬品としての製造販売承認を取得しました「Ampdirect™ 2019-nCoV検出キット」（株式会社島津製作所）が売上に寄与しており、引き続き迅速かつ安定的な供給体制を図り同感染症収束の貢献に努めてまいります。

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴い直接訪問による営業活動の自粛を継続しております。国内販売では、基幹病院や検査センター、食品企業や製薬企業へ向けてWebを介した会議・セミナーを開催し、検査機器、各種試薬、培地類の営業活動を展開しました。また、製品の使用方法動画・PRビデオを動画共有サイトに掲載し、製品のさらなる拡売に努めました。今後もWeb会議・ITツールを軸としたインサイドセールス強化に努めてまいります。

海外販売については、海外渡航が制限されている状況が続く中、Webを介した会議を実施して海外代理店とのコミュニケーションと情報収集を強化すると共に、培養されたコロニーをAWS（Amazon Web Service）クラウドとAI（人工知能技術）を利用して簡単にカウントできるWeb サービス「@BactLAB」を用いた菌数測定用乾式簡易培地「Compact Dry®」の拡売を推進しました。また、海外での当社認知度向上および潜在顧客獲得を目的として、自社英語Webサイト上にバーチャルブースを開設しました。

このような活動にもかかわらず第1四半期の影響が大きく、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期に比べ11億20百万円（17.9%）減少し51億39百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は前年同四半期に比べ2億66百万円（47.0%）減少し3億0百万円、経常利益は前年同四半期に比べ1億77百万円（30.8%）減少し3億97百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ52百万円（16.8%）減少し2億60百万円となりました。

なお、当社は、2020年4月1日付で、当社の肝臓加水分解物事業を連結子会社の日水製薬医薬品販売株式会社に承継させたうえで、日水製薬医薬品販売株式会社の当社保有株式すべてをゼリア新薬工業株式会社に譲渡しました。今期より当社グループの事業は単一セグメントとなったため、セグメント別の記載を省略しております。現在の当社単体での経営成績は以下のとおりとなります。

(参考)

①単体経営成績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(%は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期 第2四半期	5,139	2.1	309	△30.1	439	△10.1	396	88.2
2020年3月期 第2四半期（注）	5,033	1.0	441	△28.5	489	△25.2	210	△52.9

(注) 2020年4月1日付で譲渡した肝臓加水分解物事業の経営成績を組み替えた経営成績になります。

②単体経営成績での国内外別売上状況（2020年4月1日～2020年9月30日）

（％は対前期増減率）

区分	第1四半期 (2020年4月1日～ 2020年6月30日)		第2四半期 (2020年7月1日～ 2020年9月30日)		累計 (2020年4月1日～ 2020年9月30日)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
国内	1,854	△4.1	2,734	14.8	4,589	6.3
海外	275	△28.6	274	△16.8	550	△23.1
全社	2,129	△8.2	3,009	10.9	5,139	2.1

（注）対前期増減率に使用した前期売上は2020年4月1日付で譲渡した肝臓加水分解物事業の経営成績を組み替えた売上になります。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響からの回復状況について、第1四半期では苦戦を強いられる状況となりましたが、第2四半期において、国内の基幹病院や検査センターへの販売は上述の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）PCR検査薬の拡売も寄与し売上が急激に拡大しております（第1四半期から第2四半期にかけての伸び率：61.8%増加）。また、国内の食品・製薬企業への販売は、一部回復基調にある顧客もあり、第2四半期の売上は一定の回復傾向を見せております（第1四半期から第2四半期にかけての伸び率：25.1%増加）。

なお、海外販売においては、国内に比べ依然として厳しい経済状況が続いている面もあり、売上は第1四半期と第2四半期でほぼ同等に推移しております（第1四半期から第2四半期にかけての伸び率：0.3%減少）。

この結果、当第2四半期累計期間の単体での売上高は前年比2.1%増となりました。

<研究開発活動等>

研究開発活動等について、新たなビジネス創出の機会として、将来有望と考えられる研究プロジェクトや独創的かつ萌芽的なアイデアなどを早期に発掘し、共同研究また実用化に通じる創成を目指す日本製薬オープンイノベーションプログラム「NeyeS」（エヌアイズ）において、2020年度の募集準備を行っております。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ4億75百万円（1.4%）減少し347億28百万円となりました。主な増加は現金及び預金7億84百万円、関係会社預け金14億25百万円、投資有価証券4億23百万円によるもので、主な減少は受取手形及び売掛金5億65百万円、有価証券4億31百万円、商品及び製品4億0百万円、建物及び構築物6億36百万円、土地8億67百万円によるものです。

なお、肝臓加水分解物事業の分割及び連結子会社の株式譲渡に伴う減少は現金及び預金8億35百万円、受取手形及び売掛金8億34百万円、商品及び製品5億61百万円、建物及び構築物6億20百万円、土地8億67百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ5億80百万円（19.2%）減少し24億46百万円となりました。主な減少は未払法人税等29百万円、未払消費税等88百万円、賞与引当金26百万円、関係会社株式売却損失引当金2億16百万円、流動負債その他（未払費用）1億57百万円、繰延税金負債53百万円によるものです。

なお、連結子会社の株式譲渡に伴う減少は買掛金1億15百万円、未払法人税等48百万円、未払消費税等30百万円、賞与引当金37百万円、流動負債その他（未払費用）74百万円、繰延税金負債53百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億5百万円（0.3%）増加し322億82百万円となりました。

この結果、自己資本比率は93.0%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ56億9百万円(157.6%)増加し91億68百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億5百万円の収入(前年同期は4億94百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益3億85百万円、減価償却費1億42百万円に対し、売上債権の減少2億83百万円、法人税等の支払額78百万円があったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、57億26百万円の収入(前年同期は56億32百万円の収入)となりました。これは主に関係会社預け金のうち、預入期間3ヶ月以内の減少額34億円があったためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億42百万円の支出(前年同期は4億65百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の修正については、本日(2020年10月29日)公表の「2021年3月期 業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,462	4,247
受取手形及び売掛金	3,404	2,838
有価証券	431	—
商品及び製品	1,409	1,008
仕掛品	305	283
原材料及び貯蔵品	808	669
関係会社預け金	18,496	19,921
その他	216	266
貸倒引当金	△32	△1
流動資産合計	28,503	29,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,359	723
機械装置及び運搬具（純額）	380	411
土地	2,985	2,118
リース資産（純額）	15	5
建設仮勘定	61	14
その他（純額）	159	110
有形固定資産合計	4,962	3,383
無形固定資産		
ソフトウェア	73	68
リース資産	13	5
ソフトウェア仮勘定	8	3
その他	6	5
無形固定資産合計	101	83
投資その他の資産		
投資有価証券	1,296	1,720
繰延税金資産	45	47
その他	326	261
貸倒引当金	△32	△1
投資その他の資産合計	1,636	2,027
固定資産合計	6,700	5,494
資産合計	35,203	34,728

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,460	1,522
リース債務	29	12
未払法人税等	164	134
未払消費税等	101	12
賞与引当金	168	141
役員賞与引当金	19	11
関係会社株式売却損失引当金	216	—
その他	432	233
流動負債合計	2,592	2,069
固定負債		
退職給付に係る負債	2	1
リース債務	1	—
繰延税金負債	53	—
長期預り保証金	372	372
その他	4	3
固定負債合計	434	377
負債合計	3,027	2,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,449	4,449
資本剰余金	5,378	5,378
利益剰余金	22,415	22,440
自己株式	△100	△100
株主資本合計	32,143	32,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	114
為替換算調整勘定	—	△0
その他の包括利益累計額合計	33	113
純資産合計	32,176	32,282
負債純資産合計	35,203	34,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	6,260	5,139
売上原価	3,437	3,183
売上総利益	2,823	1,956
販売費及び一般管理費	2,255	1,655
営業利益	567	300
営業外収益		
受取利息	35	36
受取配当金	9	9
投資有価証券売却益	—	36
業務受託料	—	13
デリバティブ評価益	—	16
その他	6	20
営業外収益合計	51	133
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	40	33
投資有価証券売却損	—	2
デリバティブ評価損	3	—
為替差損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	43	36
経常利益	575	397
特別利益		
持分変動利益	11	—
固定資産売却益	4	—
特別利益合計	16	—
特別損失		
固定資産処分損	6	0
投資有価証券評価損	128	11
特別損失合計	134	12
税金等調整前四半期純利益	457	385
法人税、住民税及び事業税	161	97
法人税等調整額	△17	27
法人税等合計	144	124
四半期純利益	313	260
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	313	260

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	313	260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	80
為替換算調整勘定	—	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
その他の包括利益合計	△8	80
四半期包括利益	304	340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	304	340
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	457	385
減価償却費	173	142
引当金の増減額 (△は減少)	2	5
受取利息及び受取配当金	△44	△46
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△33
支払利息	0	0
デリバティブ評価損益 (△は益)	3	△16
持分法による投資損益 (△は益)	40	33
固定資産売却損益 (△は益)	△4	—
持分変動損益 (△は益)	△11	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	128	11
売上債権の増減額 (△は増加)	150	△283
たな卸資産の増減額 (△は増加)	81	△124
仕入債務の増減額 (△は減少)	△150	183
その他	△170	△74
小計	654	183
法人税等の支払額	△159	△78
営業活動によるキャッシュ・フロー	494	105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社預け金の増減額 (△は増加)	5,100	3,400
有価証券の売却及び償還による収入	500	—
有形固定資産の取得による支出	△95	△115
有形固定資産の売却による収入	102	—
無形固定資産の取得による支出	△13	△13
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	25
利息及び配当金の受取額	39	27
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	2,401
その他	△0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,632	5,726
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△18	△18
配当金の支払額	△446	△223
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△465	△242
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,662	5,589
現金及び現金同等物の期首残高	4,935	3,558
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	20
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,597	9,168

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 1社

会社名 Nissui Pharma Solution

Nissui Pharma Solution社は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

なお、2020年4月1日付で日水製薬医薬品販売株式会社の全株式を譲渡したことに伴い、同社を連結の範囲から除外しております。

(2) 非連結子会社の数 該当事項はありません。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法を適用した非連結子会社の数 該当事項はありません。

(2) 持分法を適用した関連会社の数 2社

会社名 セルジェンテック株式会社

日本テクノサービス株式会社

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	診断薬事業	医薬事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,107	1,153	6,260
セグメント利益	832	186	1,019

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,019
全社費用(注)	△451
四半期連結損益計算書の営業利益	567

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

当社は2020年4月1日付で、医薬事業を営んでいた日水製薬医薬品販売株式会社の全株式をゼリア新薬工業株式会社に譲渡しております。そのため、第1四半期連結会計期間より当社グループは診断薬事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

会社分割及び重要な子会社の株式の売却

当社は、2020年4月1日を効力発生日として、当社の診断薬事業の一部である肝臓加水分解物事業を当社の連結子会社である日水製薬医薬品販売株式会社（現 健創製薬株式会社。以下、「医薬品販売会社」という。）へ会社分割（吸収分割）の方法により承継した上で、医薬品販売会社の当社保有株式全てをゼリア新薬工業株式会社（以下、「ゼリア新薬」という。）に譲渡いたしました。

共通支配下の取引等

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称	当社の診断薬事業の一部である肝臓加水分解物事業
事業の内容	肝臓加水分解物の製造及び販売

(2) 会社分割日

2020年4月1日

(3) 会社分割の法的形式

当社を分割会社とし、医薬品販売会社を承継会社とする吸収分割

(4) 分割後企業の名称

日水製薬医薬品販売株式会社

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

重要な子会社の株式の売却

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

ゼリア新薬工業株式会社

(2) 分離した事業の内容

事業の名称	医薬事業（日水製薬医薬品販売株式会社）
事業の内容	薬局・薬店向け医薬品、健康食品の製造、販売ならびに輸出入
当社との取引内容	製商品の売買等

(3) 事業分離を行った主な理由

当社は、利益ある成長を目指すとともにポートフォリオの見直しを進めており、主力事業である診断薬事業の更なる成長に向けて投資を強化していく方針を掲げております。今後の医薬品販売会社及び肝臓加水分解物事業の成長戦略を検討する過程において、ゼリア新薬の傘下で事業運営にあたるのが、医薬品販売会社の一層の成長・発展に資するとの判断に至り、当社の肝臓加水分解物事業を医薬品販売会社に承継した上で医薬品販売会社の当社保有株式全てをゼリア新薬へ譲渡いたしました。

(4) 事業分離日

2020年4月1日

- (5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項
受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

関係会社株式売却損 216百万円

ただし、上記売却損については、前連結会計年度において関係会社株式売却損失引当金を計上しているため当期の損益に影響はありません。

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	2,366百万円
固定資産	1,505百万円
資産合計	3,871百万円
流動負債	364百万円
固定負債	53百万円
負債合計	417百万円

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメントの名称

医薬事業

なお、これにより第1四半期連結会計期間より当社グループは診断薬事業のみの単一セグメントとなっております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載の通りであります。

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

第1四半期連結会計期間の期首を譲渡日として事業分離を行っているため、当第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に分離した事業に係る損益は含まれておりません。